

関係人口創出・拡大事業（裾野拡大型・裾野拡大（外国人）型）モデル事業 成果報告会 開催レポート

1. 開催概要

2020年2月18日、「関係人口創出・拡大事業（裾野拡大型・裾野拡大（外国人）型）成果報告会」を、TKP新橋カンファレンスセンターにて開催しました。

成果報告会では、本年度、関係人口創出・拡大事業の裾野拡大型・裾野拡大（外国人）型で採択されたモデル団体が一堂に会し、本年度モデル事業の成果について報告するとともに、モデル団体と当日参加者の皆様の情報交換の場として名刺交換会を開催しました。

当日はモデル団体に加え、全国各地から120名超の方々が参加され、モデル団体の成果発表に熱心に耳を傾けられていました。名刺交換会においても、モデル団体や参加者同士で活発に意見や情報が交換され、事業に対する関心の高さが窺われました。



2. 成果報告会の内容

【開会挨拶・概要説明】

— 足達 雅英（総務省 地域力創造グループ 地域政策課 課長）



冒頭、主催者である総務省より、開会挨拶および「関係人口創出・拡大事業」の背景や概要についてご説明しました。

【モデル団体の成果報告】

成果発表は、モデル団体が3つの会場に分かれて登壇し、事業成果を報告しました。各会場では、関係人口や中間支援機能、地域ブランディングに関する知見を有する有識者の方をお招きし、モデル事業担当者との質疑応答及びモデル事業に対する講評をいただくとともに、来場者との質疑応答を行いました。

各会場の様子をご紹介します。

○会場1（14G）

<登壇モデル団体>

時 間	14G
13:50～14:20	つくば市 [茨城県]
14:20～14:50	松田町 [神奈川県]
14:50～15:15	住田町 [岩手県]
15:25～15:55	氷見市 [富山県]
15:55～16:25	鳥取県
16:25～16:50	海士町 [島根県] ※
17:00～17:30	下北山村 [奈良県]
17:30～18:00	和歌山県
18:00～18:25	東みよし町 [徳島県]
18:25～18:40	講評、全体質疑

※海士町は、当日の天候不良により資料配布のみ

<有識者>

東海大学 文化社会学部 教授 河井 孝仁 氏

会場1（14G）では、裾野拡大型（地方公共団体が都市部などにある個人、企業、NPO、大学のゼミなどといった「関係案内人」と連携することにより、都市住民などの地域への関心を高める取組）にて採択された上記モデル団体より、地勢条件により地域に吹く風を利用したご当地スポーツを関係人口や大学と開発する取組、街の課題の解決策や活性化につき関係人口と一緒に考える取組、首都圏の中学生を対象にしたスタディツアー実施の取組などが紹介されました。

有識者である東海大学文化社会学部 河井孝仁教授からは、興味深い取り組みが多いとした上で、「広域の自治体ではなく、集落・地域単位のほうが実施しやすい。」「弱みや課題をしっかりと見せることで、関係人口は感謝され、関わってよかったと思うことにつながる。」「議員や上席者、納税者に対し、この事業がどのように成果があり、それが地域の人々の幸せにどのようにつながるのか、エビデンスをもって定量的に説明できることが大切だ。」との講評をいただきました。



東海大学 文化社会学部 河井 孝仁 教授

○会場2 (14E)

<登壇モデル団体>

時 間	14E
13:50~14:20	小山市 [栃木県]
14:20~14:50	東御市 [長野県]
14:50~15:15	湯沢市 [秋田県]
15:25~15:55	福知山市 [京都府]
15:55~16:25	北海道
16:25~16:50	肝付町 [鹿児島県]
17:00~17:30	大館市 [秋田県]
17:30~18:00	邑南町 [島根県]
18:00~18:25	津野町 [高知県]
18:25~18:40	講評、全体質疑

<有識者>

認定NPO法人ETIC. ローカルイノベーション事業部 サブマネージャー 押切 真千亜 氏

会場2 (14E) でも、裾野拡大型にて採択された上記モデル団体より、東京圏へのアクセスの良さを強みに地域へ関心を持つ若者層やファミリー層を増やし、将来の移住へつなげる取組、横浜市内の高齢化が進む地区とタッグを組み、長野の良質な地ワインや農産物を介した交流を進め「第二のふるさと」としてもらう取組、ロケット発射施設を中心とした宇宙産業を軸に地域おこしを行う取組などが報告されました。

有識者である認定 NPO 法人 ETIC.の押切 真千亜 サブマネージャーからは、「課題の話ばかりでなく楽しさを求心力にすることが大切。」「答えのない時代はバックキャストが難しい。積み上げ式で、どこにどのように知見・お金・人を貯めていくか、機能を設計する必要がある。」「縮小経済の中ではマーケットシェアを取るより、一緒に解決していこうというシェア型の学び合いや事業開発が重視される。」といった講評をいただきました。



認定 NPO 法人 ETIC.ローカルイノベーション事業部
押切 真千亜 サブマネージャー

○会場 3 (14F)

<登壇モデル団体>

時 間	14F
13:50~14:20	鹿沼市 [栃木県]
14:20~14:50	岩手県
14:50~15:15	高岡市 [富山県]
15:25~15:55	横手市 [秋田県] (外)
15:55~16:25	菊池市 [熊本県] (外)
16:25~16:50	丸森町 [宮城県] (外)
17:00~17:30	秩父別町 [北海道] (外)
17:30~18:00	阿南市 [徳島県] (外)
18:00~18:15	講評、全体質疑

※団体名称の後に (外) を付している団体は「裾野拡大 (外国人) 型」、その他は「裾野拡大型」。

<有識者>

東京成徳大学経営学部 准教授 芳野 まい 氏

会場 3 (14F) では、裾野拡大型、裾野拡大 (外国人) 型 (地方公共団体が地域住民や地域団体と連携し訪日外国人との交流を促進、地域との継続的なつながりを創出していく取組) にて採択された上記モデル団体より、従来よりあった台湾の大学生との交流事業をベースにインバウンド受け入れ態勢強化へ繋げる取組、外国人留学生と一緒にやる地域文化 PR やアクティビティ作りの取組、マリンスポーツ愛好家の外国人にターゲットした SUP 聖地というブランディング構築の取組などが報告されました。



東京成徳大学 経営学部 芳野 まい 准教授

有識者である東京成徳大学 経営学部 芳野まい准教授からは、いずれの自治体も細やかなアプローチをしているとした上で、「文化資源を無理に探すのではなく、関係人口の事業そのものがうまく転がり始めれば最大の文化資源になりうる。」「短期間ですぐに成果が出るものではなく、短期の消耗戦とならないよう、仮説を立て検証しフィードバックするという一連の流れを作ることが、大きな流れにつながる。」といった講評をいただきました。

【閉会挨拶】

一三好 健太郎（総務省 地域力創造グループ 地域自立応援課 課長補佐）



最後に、主催者である総務省より、閉会挨拶および来年度事業概要についてご説明を行いました。

【名刺交換会】



成果報告会の終了後、モデル団体と一般参加者の方々を交えた名刺交換会を実施しました。

当日の来場者に加えてモデル団体、有識者の方々も参加し、活発な意見・情報交換の場となりました。

以上